

〔 横浜市市民文化会館関内ホール 〕
 令和6年度業務報告及び収支決算
 〔 かんないアート&メディアパートナーズ 〕

(株) t v k コミュニケーションズ・(株) テレビ神奈川・神奈川新聞社・
 (株) 清光社・(公財) 横浜市芸術文化振興財団共同事業体

※ 文中の事業欄において、●：主催事業 ○：共催事業を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、□：定量的指標 ■：定性的指標を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階地下2階建
敷地・延床面積	延床面積 8,967.51 m ²
開館日	1986年(昭和61年)9月27日

2 指定管理者

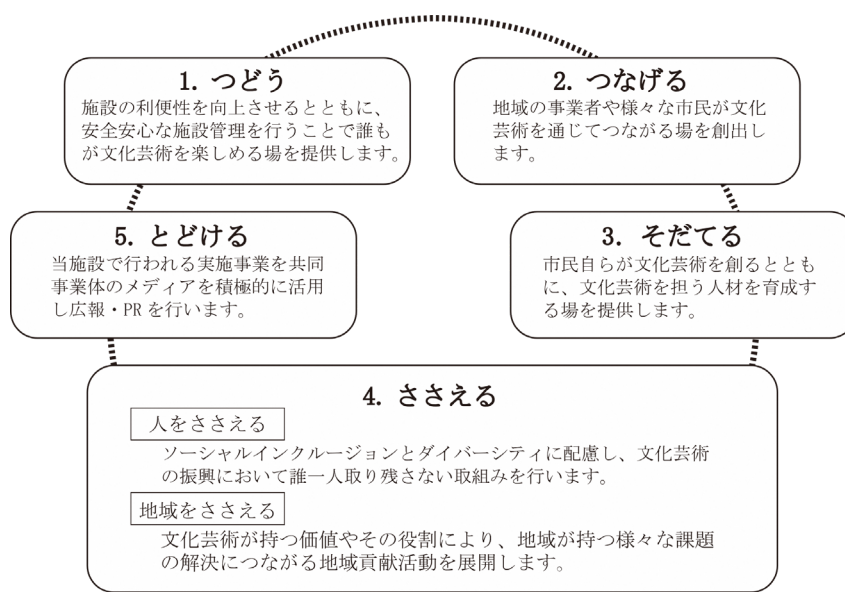
法人名	かんないアート&メディアパートナーズ (代表企業) 株式会社 t v k コミュニケーションズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1 tvk ecom park (ヨコハマくらし館内)
代表者	熊谷典和
設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和4年4月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、施設の特性や馬車道エリアという立地を活かし、施設のミッションである「文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場の提供」「文化・芸術の鑑賞の機会の提供」「次世代を担う人材の育成」「地域のにぎわいの創出」等を実現するため、3期15年間の運営経験と5社共同事業体の持つ専門性を活かし、下記に示す5つのコンセプトと6つの使命に対する基本方針で関内ホールの管理運営に取り組めます。

◆ 5つのコンセプト



◆ 6つの使命と基本方針

1. 〈使命1〉 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ①各種法令、条例、規則などを遵守し、あらゆる市民が利用し易い環境づくりを行います。
- ②施設利用者に対し、全職員のきめ細かな接遇やワンストップサービス（生花、弁当、機材等の手配）を実施することで発表、集会等、様々な文化的活動を支援します。
- ④利用者に対する定期的なアンケートやヒアリングを行うとともに、苦情があった際は対応フローに基づいた適切な対応を行った上で、今後の改善策を検討します。

2. 〈使命2〉 文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ①地域の文化振興のニーズに応えるとともに、新たな文化芸術にも着目し、市民のための文化施設としてこれまでの文化芸術の継承と更なる拡がりのある鑑賞事業を実施します。
- ②市民参加型のシンボリックな事業への参加、体験型事業やアウトリーチ事業の積極的な実施により、市民の文化芸術についての意識を醸成します。
- ③ソーシャルインクルージョンに配慮し、障がいの有無に関わらず、一人でも多くの方に文化芸術の鑑賞の機会を提供します。

3. 〈使命3〉 次世代を担う人材を育む

- ①乳幼児対象や幼児から学童対象、小中学生等、子どもの成長段階や興味に合わせて、文化芸術に触れる多彩な機会を提供することで未来のアーティストの芽を育てます。
- ②若手ジャズミュージシャンの発掘や育成に向けてのステップアップ方式の演奏機会を提供すること等により、新進アーティストが活動の機会を広げる支援を行います。
- ③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』に積極的に協力し、市民に向けた文化芸術活動に係る講座を開催することで、文化芸術活動の担い手の育成にも取り組みます。

4. 〈使命4〉 地域のにぎわいを創出する

- ①地元の馬車道商店街などに対して、広報活動の支援や地域イベントへの協力、クーポンサービスなどの実施により、連携・協働して地域の賑わいづくりを推進します。
- ②当共同事業体の強みを活かした様々なプロモーション活動を実施するとともに、地域文化の継承の役割も担います。
- ③地元事業とのタイアップや様々な関連団体との連携を行うことで地域の賑わいを創出するとともに、新たな地域貢献にも取り組みます。

5. 〈使命5〉 利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ①これまでの当施設の管理運営ノウハウを発揮し、日々の施設点検と早期の修繕実施による施設の長寿命化を実現します。
- ②様々な災害を予見した、マニュアルの作成や職員への訓練、利用者に対する安全の確保を行い、施設の安全安心な利用を第一に考えます。
- ③公演開催時には多くの方が利用される施設であるため、業務基準を上回る清掃を実施することで、施設の安全性と美観を保ちます。

6. 〈使命6〉 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

- ①新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館や利用者の制限があった際には、市と協議の上で速やかな対策を実施するとともに、制限が解除された際にすぐに安全が確保できる体制を整えます。
- ②感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下、安全安心な自主事業を開催するとともに、無観客ライブ配信や有観客とライブ配信を組み合わせる等、状況に応じた事業を実施します。

(2) 令和6年度の業務の方針

「かんないアート&メディアパートナーズ」の3年目は、コロナ禍以前の状況に戻った前年度の稼働率や過去最高を記録した利用料収入には及ばなかったが、総来場者は前年より約6000人増加の243,000人に達した。利用者が安心して利用できるステージコンシェルジュを継続し、基本的な感染症対策を実施し提案書に掲げた業務に取り組んだ。

燃料費高騰による電気使用料、ガス使用料は横ばいとなったが、自主事業の予算、実行の収支管理や全体的な運営経費削減を図り、収支改善に努めた。

動画配信やオンライン会議など直接来場出来ない方へのサービスの一環として引き続き無料で取り組んだ。また、地元商店街や企業、近隣大学との結節点となり地域連携事業の発展に寄与した。

使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ・利用者が安心して利用できるように申請手続きのサポートや新たに導入されたオンライン決済などに対して、きめ細かな対応で利用者に寄り添った運営を心掛けた。
- ・舞台・音響・照明の技術面の相談、施設の下見などステージコンシェルジュとしてワンストップサービスを心掛け、利用者サービスの向上を常に心がけ取り組んだ。

使命2 文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ・1,000席の大ホールと260席の小ホールを活用し、市民へ多彩で質の高い鑑賞機会を提供する主催・共催・協力事業を含め94回72,987人の来場者を迎え、目標を大きく上回った。
- ・主催事業では、人気の関内寄席、音響効果が大きく改善した大ホールを活用したクラシック系コンサートや参加型のコンサートを実施し、来場者の満足度向上を図ることができた。
- ・小ホールを活用した若手演奏家を支援する企画や朗読劇、乳幼児のためのコンサートなど幅広い世代を対象に鑑賞機会を提供することができた。
- ・学校教育プログラムとして、小学校・中学校へ合唱や箏の講師を派遣し、出前事業を行った。

使命3 次世代を担う人材を育む

- ・若手演奏家のギター演奏やピアニストの演奏機会を支援する企画や地元落語家（二つ目）の寄席を定期的で開催し、若い世代の利用促進につながる継続的な取り組みを行った。
- ・乳幼児向けコンサートや「こどもミュージカル」「学校教育プログラム」など次世代向けの企画を行い、文化芸術に関心を持ってもらう機会を創出した。

使命4 地域のにぎわいを創出する

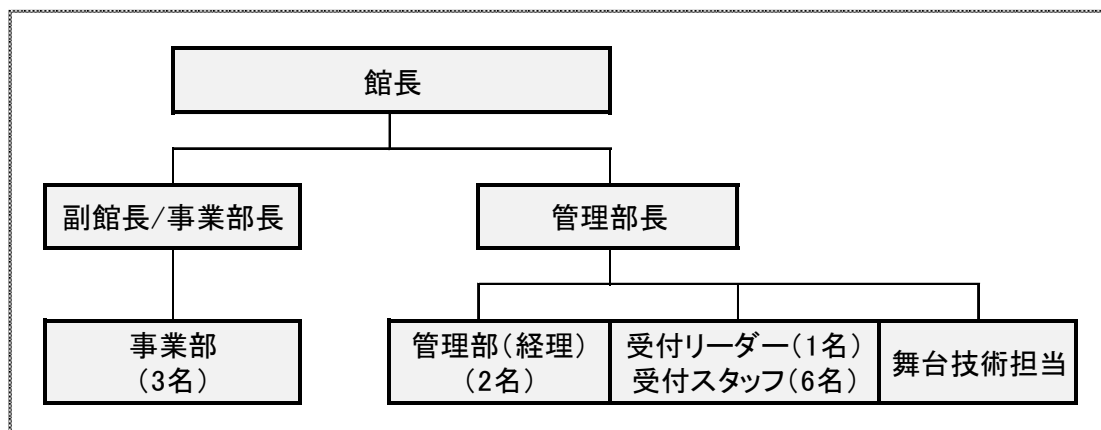
- ・馬車道商店街と共催の「馬車道まつりアートフェスタ」運営協力や、馬車道商店街主催「あいすくりにむ発祥記念の日」の関連イベント「陽だまりコンサート」の開催など地元企業や近隣大学と地域連携事業として、地域に根付いたイベントとして発展させた。
- ・地域活性化の取り組みとして「関内まつり」のスムーズな運営サポートや町内会と連携したチケットサービスの充実を図るため、店舗の紹介映像をホームページにアップするなど拡大を図った。

使命5 利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ・施設運営面では、施設予約システムの更新による混乱を回避するため、窓口での丁寧な対応や業務の簡素化を図り、スムーズな運営に努めた。防災意識向上を図るための来場者参加型「避難訓練コンサート」や職員、関係者の避難訓練や各種研修を行った。
- ・施設管理面では、日常的な保安業務や清掃を徹底し、設備機器や内装類の最新の状況を把握し、所管担当者と協議のうえ、計画的な修繕や突発的な修繕を行い、安全な施設管理を行った。

4 運営組織の構造、人員配置

◆組織図



- *互いに業務を補完しマルチジョブによる効率的で効果的な体制を構築します。
- *施設の管理にあたっては、専門分野の人材を適正に配置します。
- *高い意欲と実務経験を保有する職員が、各々の専門性を発揮し、市の施策や施設の役割等を十分に理解した上で業務を実施します。
- *専門スタッフにより、地域特性を熟知した事業企画や幅広い広報活動を実施します。

5 令和6年度の業務の取組

(1) 文化事業

文化事業への取り組みはコロナ禍以前に戻りつつあり、提案書の計画に基づいた企画の実施に取り組んだ。今年度「陽だまりコンサート」は通算50回目となる節目の公演となった。ソーシャルインクルージョンの理念に沿った参加型イベントとして、常に来場者の満足度向上を図り、地域ケアプラザへのライブ配信や芸術鑑賞として小学生にも観覧いただき世代間交流にもつながる取組となった。

また、これまで収益の軸であった落語公演については、定期的に人気真打による質の高い落語を「関内寄席」として開催するだけでなく、新たに地元の若手の落語家（二つ目）4人をフィーチャーした企画を実施し、地元根付いた事業として継続的な支援を行った。収支リスクのある主催事業だけでなく共催・協力事業の誘致を促進し、市民の鑑賞機会のさらなる拡大に努めた。

地域の賑わいの創出については、馬車道商店街との協力関係を軸に東京ガス、地元の大学に加え住吉町商店街、関内まちづくり振興会などの団体とも連携したイベントの運営協力など地域連携の取組を強化した。

文化事業の実施においても基本的な感染症対策を引き続き実施し、衛生的な環境を整備した。

■今年度の実施事業（詳細は別紙「使命の指標の達成状況」）

〈鑑賞事業〉

目標を上回る102回73,475人の来場者を迎え、さまざまなジャンルの公演を開催した。自主事業として、落語公演や朗読劇、乳幼児向けコンサート、クラシックを気軽に楽しめる参加型コンサートや若手アーティストの演奏機会を提供した。また、歌舞伎、狂言、クラシック系コンサートなど幅広いジャンルの公演の鑑賞機会を市民に提供することができた。

アウトリーチ事業として、長浜ホールや南区商店街イベントに関内寄席「ここの4人」のコンテンツとして出演者の派遣と運営支援を行った。

〈ソーシャルインクルージョンに配慮した鑑賞機会の提供〉

吉野町市民プラザ、岩間市民プラザとの3館連携事業として障害の有無を超えた「スクランブルダンスプロジェクト」をインクルーシブな取り組みとして継続し、発表の場をサポートした。地域の障害者支援施設や社会福祉協議会などと連携し、経済的な負担を軽減し鑑賞機会拡大を図る招待企画等も実施した。今後も地域団体等と連携し、鑑賞機会拡大のための体制を整える。

〈横浜が誇る文化芸術事業への協力〉

横浜を代表するイベントである「横濱ジャズプロムナード」や「ヨコハマ映画祭」に協力し、地域に密着したイベントとして知名度アップに寄与した。市内の小学4年生を対象としたバレエ鑑賞会「心の教育・バレエの世界」の実施は主催者の事情で中止となった。

〈次世代育成事業〉

「よちよちひなたぼっこコンサート」は0歳から参加できる乳幼児向けコンサートとして、親子で気軽に音楽鑑賞できる機会を提供した。また、「アートフェスタ」ではいろいろな楽器を親子で体験できる参加型の「オカピのわくわくコンサート」やホールの裏側を案内する「バックステージ体験」では小学生以下を無料とするなど参加しやすい企画として実施した。芸術鑑賞の機会として横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校の5年生が「陽だまりコンサート」公演を鑑賞し、次年度公演のスペシャルゲストとして出演する文化芸術を通じた多世代交流企画に発展させることができた。

一般公募による「こどもミュージカル」も横浜にちなんだテーマで、今回は記念公演として大学生も加わり、パワーアップした公演となった。

横浜出身の落語家（二つ目）4人を真打昇進まで応援する「関内寄席」の一環として「ここのら4人」を定期的に5回開催し、市民が落語に触れる機会を創出し、地域に根付いた企画に発展した。

“教育プラットフォーム「学校プログラム」”では小学校2校・中学校1校11クラス計8回延べ328名に声楽家や箏曲家団体の講師を派遣し、音楽鑑賞の機会を創出するとともに子供たちにリアルな演奏を体験してもらい芸術に興味を持ってもらうきっかけを作ることができた。

〈新進アーティスト支援事業〉

9月には神奈川ギター協会との協働で若手ギタリストの登竜門として知られる「神奈川新人ギタリストオーディション」優勝のギタリスト3人が切磋琢磨する演奏の場として「トライアドコンサート」を開催、親しみやすいギター曲で市民に鑑賞機会を提供した。

3月にはショパン国際ピアノコンクール予備予選出場の若手ピアニスト2人による「ピアノジョイントコンサート」を開催し、事前の練習から本番までサポートし、満席の来場者を迎えた。

老舗ジャズ喫茶「ちぐさ」が主催する新人ジャズミュージシャンの登竜門とされる「ちぐさ賞ライブ」は残念ながら中止となったが、次年度以降の開催を目指し、関係者と調整していく。

玄関前ステージでのストリートライブでは新規のアーティスト支援に取組み、日本バレエ協会が主催する若きバレエダンサーのための新人コンクールの安定的な実施に協力した。

〈市民の創作活動のための機会の提供〉

2011年より継続している横浜市民広間演奏会所属アーティストによる「陽だまりコンサート」は基本的な感染対策を行い、クラシックから童謡唱歌、映画音楽を気軽に楽しめる歌唱参加型公演として4回開催した。2月は“第50回記念”として120分の拡大公演を行い、近年の平均来場者数を大きく上回る約850名が来場。シリーズの節目として、来場者・出演者ともに心に残る公演となった。今後も引き続き、長く愛される公演になるよう努める。

ホールの空き時間を活用した「マイ練習プラン」ではホールでの演奏体験を通じて、演奏の楽しさや充実感を実感してもらう機会を創出した。リハーサル室を主な練習場所として利用いただいている団体をサポートし、ホールでの発表会の開催実施に協力した。

〈地域の賑わいへの貢献〉

毎年恒例の馬車道商店街と連携した5/9「あいすくりーむ発祥記念 陽だまりコンサート」や10/31から4日間の日程で開催する「馬車道まつりアートフェスタ」の運営に積極的に参加した。

東京ガス主催によるコンサートや近隣の大学などとの連携を強化し、文化活動における結節点となり、地域のにぎわいづくりに寄与した。「アートフェスタ」の広報用地図には近隣イベントも掲載し、街の回遊性をもたせた街歩き着地型観光を推進した。関内ホールイベントのチケットサービス「チケ得！」の拡大を図るため、馬車道商店街店舗への参加呼びかけや動画制作、チケット購入者への店舗紹介チラシ配布など新たな取組で街の賑わいづくりに積極的に取り組んだ。

〈情報提供及び広報〉

当事業体ならではのマスメディアを最大限に活用した神奈川新聞の広告やテレビ神奈川のスポットCM及び番組内告知など、広報活動を積極的に行った。タウンニュースや新聞記事掲載など地域の情報誌を活用するとともにSNSやネット広告など様々な媒体を駆使してより多くの市民に必要な情報を提供できるよう積極的な広報を行った。マイ練習プランではLINEを活用し、時代に即した情報を発信した。

(2) 集会や講演会利用への施設の取組み

“ステージコンシェルジュサービス”として専門スタッフによるきめ細かな利用アドバイスと、公演実施に必要な生花、お弁当、看板等の手配をワンストップで提供することにより、引き続き利用者のサポートに努めた。大・小ホールに既設の「リアル動画配信システム」を活用した講演会、発表会、集会等の利用について広くサポートした。

(3) 施設運営

アンケート回答等、利用者の意見を基に業務改善のPDCAを行う「責任者会議」を毎月定期的に実施することで利用者目線に立った業務改善に取り組み、利用者ニーズの把握と満足度向上に努めた。各種利用割引優遇制度やマイ練習プラン、ステージコンシェルジュ等の利用者サービスと大・小ホールに既設のリアル動画配信システムの無償提供を継続することで更なる利用率の向上に努めた。

利用者から要望が多い大・小ホールの利用時間延長への対応や、公演チケットの委託販売業務等についても引き続き実施し、利用者に寄り添った運営を心掛けた。

また、令和5年度11月にリニューアルとなった予約システムについては、利用者の要望や課題をスタッフおよび横浜市に共有し、スムーズな運用に努めた。

(4) 施設管理

大規模改修工事で更新及びオーバーホールされた設備機器類及び内装類を機能維持するだけでなく、更新されなかった設備機器類が良好な状態を保てるように維持管理に努めた。保安警備業務の徹底、日常清掃の継続によって、ホール利用者、付属店舗、青少年育成センターに安全で快適な環境を提供できるよう設備点検等の状況を共有し、衛生的な環境の整備を行った。防災設備の懸念事項であった防火ダンパーの不具合については横浜市と協力し一部改修を実施、今後の更新についても市と情報共有し、取り組む方向性が構築できた。また感染対策には、状況に応じアルコール消毒剤での拭掃、効率的な外気導入換気を継続して実施した。

(5) 収支

指定管理料のみに依存しない収入構造や経費削減などの効率的な運営を行うために、プロモーターや各種団体へのホール利用促進や様々な努力や工夫による収入の増加と費用の削減を図った。

収入面においては、魅力的な自主事業の実施とそれに伴う広報、PR活動の積極的な取り組みによる事業収入の増加に努め、各種サービスや割引優遇制度の継続やマイ練習プラン等の実施により利用率向上に取り組むことで利用料収入の増加を図った。

費用面においては、経費の見直しや適正人員の配置と業務の平準化、可視化、効率化による人件費削減や、事業の舞台技術の内製化による事業費削減、建物や設備における予防保全の徹底による維持管理費の削減に努めることで全体的な運営費の減少を図った。

また、質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の取得についても、引き続き積極的に取り組む。

(6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

事務所、警備、設備、清掃、舞台等のセクションごとに管理日報を作成し、サーバーで一元管理を行った。報告事項については管理月報としてとりまとめ、月次のモニタリング会議において横浜市へ報告した。

業務計画書ならびに業務報告書、業務評価表については、年度ごとに作成し横浜市へ提出した。

令和5年度の11月に指定管理者選定評価委員会の中間評価のヒアリングが実施された。評価委員からの評価、更なる取り組みを期待する点については、積極的に改善に取り組む。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R4実績	R5達成指標	R5実績	R6実績	R7実績	R8達成指標	R8実績
1	貸館利用率							
	大ホール	92.4%	94.1%	95.7%	89.6%	—	95.0%	—
	小ホール	79.3%	83.7%	89.1%	81.7%	—	86.2%	—
2	総来場者数	208,093 人	280,000 人	237,171 人	242,989 人	—	310,000 人	—
3 ★	リハーサル室利用者による文化発表会の実施	実施に向け検討した	年1回	年1回	年1回	—	年1回	—
4 ★	業務改善のためのPDC Aサイクルとして定期的に責任者会議を実施	2カ月に1回	月1回	月1回	月1回	—	月1回	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
		達成指標	実績
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 5 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 5 実績	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 6 実績	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施（※）
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 8 実績	—

※主催者、来場者、事業参加者向けアンケート実施内容

実施日	通年実施
実施方法	主催者、事業参加者にはアンケート用紙を配布、来場者向けは施設内に QR コード設置し web アンケートとして実施
主催者からの声	<p>「当日大ホールのリハーサルの際音漏れの事を言われましたがさほど気にならずに気持ちよく開催できました。駐車場の時間をもう少し柔軟に対応して頂けたら助かります。」</p> <p>「当日の舞台担当の方の対応が素晴らしかったです。音声・照明・座席ていねいにお迅速に対応調整いただき非常にスムーズに催物が進行できました。」</p> <p>「音響・照明もすばらしくまた利用させて頂きたいです。」</p> <p>「舞台スタッフの方々は皆さん一生懸命でとてもありがたかったです。事務の方々もお世話になりました。ありがとうございます。」</p>
事業参加者からの声	<p>・ 関内寄席（10/26）（2/23）</p> <p>「中入後となりの人がスマホをいじりだし全然話に集中できませんでした。」</p> <p>「隣の隣の男性が携帯を公演中に何度もつけていて、光って気になり凄く嫌でした。」</p> <p>■鑑賞マナーについては継続して取り組むなか、アップデートも必要で、影アナウンス以外にも視覚的に伝えられるようピクトグラムのな掲示物にて注意喚起を行った。</p>

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ 様々な割引制度により、条例に定められた該当団体への減免を適切に実施した。
- ・ 「マイ練習プラン」はLINEを活用し、大ホールスタインウェイ・CFX 2台のピアノ弾き比べなど新規の取組みにも挑んだ。
- ・ 「生中継動画配信サービス」引き続き無償で提供した。
- ・ 子供向けの参加型コンサート「よちよちひなたぼっこコンサート」を実施し、多くの乳幼児の参加を得た。
- ・ 業務改善のための PDCA サイクルとして利用者アンケートを実施するとともに、日常的に利用者や来場者の意見に耳を傾け、適宜改善を行った。定期的に責任者会議を実施してそれぞれの課題を共有し解決に努め、利用者満足度の向上に取り組んだ。
- ・ リハーサル室の定期利用者による発表会の実施では、舞台技術面でのサポートや、発表会本番までこまめに意見交換を行いスムーズな発表会開催に寄与した。

エ 使命1の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
市民の活動の場	ステージコンシェルジュにて常に利用者に寄り添った取組を実施した。	利用者アンケートでは、舞台スタッフ、受付スタッフの対応に対し多くの感謝の言葉をいただいております、スタッフのモチベーション維持にも繋がっている。	施設を利用され満足されなかった方の意見にもしっかりと耳を傾け、改善につなげていく。
	リニューアルとなった予約システムでは、利用者からの質問や要望に対し、利用者寄り添いスムーズな運用に務めた。	予約システムでは、大きなトラブルなく取り組めた。	キャッシュレスの利用はさらに増えていくと思われ、窓口キャッシュレスの還付などイレギュラーな対応についての習熟度を向上させる。
	貸館利用率大ホール 89.6% 小ホール 81.7%と前年を下回った	貸館利用率が下がったが総来場者数は前年を上回った。	利用キャンセルとなった空き施設を新規利用につなげ貸館利用率を向上させる。

(2) 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	鑑賞型事業のメニューのジャンル数、実施回数及び入場者数	7ジャンル 76回 32,211 人	7ジャンル 44回 29,000 人	7ジャンル 90回 52,453 人	7ジャンル 102回 73,475 人	—	7ジャンル 44回 35,500 人	—
2	体験型事業の事業数及び実施回数	4事業 5回	6事業 17回	5事業 8回	8事業 11回	—	6事業 17回	—
3	アウトリーチ事業の実施回数	年0回	年2回	0回	2回	—	年2回	—
4	来場者（参加者）満足度（アンケート集計）	86.1%	事業アンケートで「満足」以上の回答 85%	87.0%	86.2%	—	事業アンケートで「満足」以上の回答 90%	—
5 ★	ソーシャルインクルージョンに配慮した事業の実施数	3事業	6事業	4事業	6事業	—	8事業	—
6 ★	公的な文化芸術事業へ協力を行った数	6事業	5事業	8事業	7事業	—	5事業	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4 実績	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行った
		R 5 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 5 実績	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行った
		R 6 実績	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行った（※）
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 8 実績	—

※事業アンケートの回答や事業モニターの意見

実施日	2025/02/23 関内寄席
実施方法	来場者アンケート
来場者の声と今後の改善点	<p>▼来場者の声</p> <p>「声が響いて、ききとりにくかったです」</p> <p>「音響がぼわんとしていたのが気になります。」</p> <p>「声がもう少しききとりやすいと良かったです。」</p> <p>【今後の改善点】</p> <p>特に落語会では席位置によって聞き取りにくい場所もあるため、折角足を運んでくださった方皆さんが満足いただけるよう技術的な部分は勿論、会館としてレベルアップに努める。</p>

ウ 使命2を達成するために重点的に取組む事項

- ・ソーシャルインクルージョンに配慮した取組として、陽だまりコンサートでは視覚障害のある方の参加や、地域ケアプラザへのライブ配信を行い来館が困難な方にも鑑賞の機会を設けた。
- ・関内ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの3館連携プロジェクトとして、障がいの有無を超えて共にダンスを創るスクランブルダンスプロジェクト公演を実施した。
- ・公的な文化事業の実施に向けた積極的な支援・協力をを行い、各主催団体と良好な関係を築き、継続的な実施を担保できた。
- ・アウトリーチ事業として、長浜ホールや南区商店街イベントに関内寄席「ここの4人」のコンテンツとして出演者の派遣と運営支援を行った。

エ 使命2の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
鑑賞機会の提供	1000 キャパを有するホールを備えた施設として、幅広いジャンルの鑑賞機会を主催・共催・協力にて開催し目標値を達成した。	様々な公演を開催し、市民の鑑賞機会を安定的に提供することができ、総来場者数増加につながった。	施設には幅広い年齢層の方々が足を運んでいただいております安定した心のバリアフリー化を目指す。
	来場者アンケートにおける満足度 85%以上をキープした。	満足度においては無回答者を除くと満足度 96%となり多くの方々に良質な公演を提供した。	アンケートにおける不満ゼロを目指す。
	市内出身の唸家をフィーチャーした「ここらの4人」コンテンツをアウトリーチで実施した。	他施設においても市内出身の唸家を応援しよう！という機運が高まった。	出向くアウトリーチだけではなく取り込むインリーチにも積極的に取り組む
	留学生音楽祭は主催元が事業を取り止めたため不実施。	留学生音楽祭は実施出来なかったが、アメリカ・カナダからの留学生に、日本文化に触れる機会を提供した。	留学生音楽祭は開催の見通しが立たないため、留学生に日本文化に触れる機会を継続する。

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	子どもをターゲットとした事業数	16 事業	10 事業	12 事業	11 事業	—	10 事業	—
2 ★	玄関前ステージでの公募型ストリートライブ定期開催数	2回	10回	10回	11回	—	10回	—
3 ★	新進アーティスト支援を目的とした事業数	10 事業	5 事業	14 事業	11 事業	—	5 事業	—
4 ★	学校プログラムへの協力	3校	2校	3校	3校	—	2校	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	子どもたちや学校	R4 実績	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行った

の定性分析	R 5 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う	
	R 5 実績	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行った	
	R 6 実績	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行った（※1）	
	R 7 実績	—	
	R 8 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う	
	R 8 実績	—	
2	新たに参加した人の属性分析	R 4 実績	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活用した
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 5 実績	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活用した
		R 6 実績	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活用した（※2）
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 8 実績	—

※1 子どもたちや学校の定性分析：参加者または学校関係者へのアンケート及びインタビュー結果

1) 実施日	2024年7月1日（月）2日（火）
実施概要	お箏を通して日本の伝統文化に触れてみよう 小学校4年生、3クラス（別途個別支援級含む）
内容	お箏の説明、「さくら」を最後まで演奏してみる。 講師と一緒に「さくら」を演奏。講師演奏
こどもたちの声	はじめてことをやるととても楽しかった。 お琴を一本指だけでなくもっと他の指を使ってえんそうしてみたくなった。 順番が回ってくる時にワクワクしていた。 家元の先生の「さくら」がとてもバリエーションがあつてすごかった。あと、いがいとげんがかたかったのでバイオリンとちがっておもしろかった。
アーティストの声	2日間お箏の授業で、子供たちに日本の伝統的な音階を使った「さくら」の聴講と、実技の学習を行いました。想像以上に高い関心をもって、実りある授業の成果が感じられたと思っています。
2) 実施日	2024年9月25日（水）10月4日（金）23日（水）
実施概要	合唱の喜びを感じあおう

	中学校3年生・5クラス
内容	合唱コンクールへ向けた歌唱活動の取り組みとして実施する。 まずは、発声の基礎を学び、なめらかに息を出す、のびのびと声を出すことができるようになって歌う喜びを感じてほしい。 各パートを合わせた時に、クラスメイトとともに、音楽を作り上げる喜びを体感し、学級全体のまとまりを感じ取れるようにするとともに、合唱を通して、豊かな感性を養ってほしい。
こどもたちの声	歌うことってすごく色々な表現のしかたがあって素敵なものなんだなと感ずることができた。 皆で良いものを作ろうとしたら楽しかった。 授業の前後で全然声が変わっていたことが自分でも分かったのがうれしかった。
アーティストの声	初日のコンサート後の全校生徒へのアドバイスを皆さん熱心に実践されていたようで、さらに3年生の全クラスは向上心に溢れ、授業のあるなしに関わらず空き時間に質問にくるなど常にモチベーションが高く、教える側としてもとてもやりがいがありました。2回の授業を通じて、皆さん声もまた音楽的にも大きな成長を見せてくれました。
3) 実施日	2024年11月25日(月)26日(火)27日(水)
実施概要	お箏の魅力を知り「さくら」を演奏してみよう 小学校4年生
内容	日本の伝統音楽の体験を通して、伝統楽器に触れる機会を設け、伝統楽器の音色の良さや面白さをとらえるだけでなく、友達と教えあいながら、ともに目標を達成していく喜びを味わいたい。また、アーティストの音楽に対する姿勢や生き方を知ることで、子供たちのキャリア教育にもつなげたい。
こどもたちの声	普段できないことを体験出来たのが良かったです。 日本の昔の文化に触れて良かった。 ギターやドラム(洋風の楽器)と違う綺麗な音色で綺麗な音をひけるようになったから楽しかったし、嬉しかった。
アーティストの声	主要目的は三日目の発表会で一曲演奏することでした。素直で好奇心の高い生徒がお互いを刺激し合う素晴らしい環境でした。また、授業の中で楽器の歴史、和楽器の特徴、日本の音楽教育の意味について、簡単に説明しました。子供たちの質問も多く、実りある三日間であったと感じています。

※2 参加した人の属性分析：事業アンケート結果

1) 実施日	通年実施事業の来場者アンケート
実施方法	来場者アンケート
新たな参加者	事業全体において「初めての来場者」は33.4%となったが ・「陽だまりコンサート」では23.8% ・関内寄席においては32.2%が初めて関内ホールを訪れた。

	<p>・「二人の老女（朗読劇）」「ピアノジョイントコンサート」の新規事業として開催した公演では58%と半数以上が初めての来場者となった。</p>
参加者の傾向	<p><陽だまりコンサート> 市内から83%：県内から12%：都内から3%</p> <p><関内寄席> 市内から56%：県内から7%：都内から16%</p> <p><関内寄席こころの4人> 市内から77%：県内から10%：都内から9%</p> <p><新規事業（朗読劇・ピアノジョイントコンサート）> 市内から37%：県内から19%：都内から35%</p>
今後の取組において	<p>関内ホールの事業の軸として開催している「陽だまりコンサート」「関内寄席」ではリピート率も高く、多くの市民に親しまれている。</p> <p>「朗読劇」「ピアノジョイントコンサート」では新規客層を取り込むことが出来、また都内からの多くの来場者を迎えることができた。</p> <p>多くの市民に親しまれている「陽だまりコンサート」、「関内寄席」は今後も事業の軸として開催し、新たな客層をリピーターに繋げられるように取組む。</p>

ウ 使命3を達成するために重点的に取組む事項

- ・ 玄関前ステージでのストリートライブは全国共済前ライブにも取組み 11 回開催し、新たなアーティストや既存のアーティスト、幼稚園児に発表の機会を提供するなど延べ1,410人が鑑賞した。
- ・ 音楽やダンス等、新進アーティスト（若手アーティスト）支援を目的とした事業は 11 事業を実施、市内出身の二ツ目唄家にフォーカスした事業など若手アーティストの育成に取り組んだ。
- ・ 学校プログラムでは小学校2校・中学校1校の計3校を担当し、延べ328名の生徒に伝統芸能鑑賞や音楽鑑賞など文化芸術に触れる機会を提供した。
- ・ 子どもをターゲットとした事業は、コンサートやミュージカル、キャラクターショー、ワークショップなど、11事業を実施した。

エ 使命3の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
次世代を担う にたく人材	ホールの裏側を公開するバックステージツアー、フォト教室・文章講座・映像講座などJVの特徴を生かした事業を実施した。	子どもから大人まで幅広い世代に文化芸術の裏側に触れる機会を提供した。	小さなお子さん向けの親子向けイベントを担える新たな人材育成に取り掛かる。
	ストリートライブは関内ホール玄関前以外でも開催した。	幼稚園児による合唱発表を玄関前で行うなど発表の機会を提供した。	様々なジャンルで活躍が期待できる新たなアーティストの発掘も課題としている。

(4) 使命4 地域のにぎわいを創出する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	18 事業	10 事業	24 事業	14 事 業	—	10 事業	—
2 ★	デジタルアーカイブ（関内ホール動画コレクション）に地域イベント等の新規タイトルを追加	10 本 追加	10 本 追加	10 本 追加	10 本 追加	—	10 本 追加	—
3 ★	馬車道商店街とのヒアリングを実施	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	—	毎月 1 回	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携したことによる地域の定性分析	R 4 実績	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行った
		R 5 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
		R 5 実績	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行った
		R 6 実績	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行った (※)
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ “あいすくりーむ発祥記念の日” および “馬車道まつり” において、馬車道商店街との共同主催により、円滑に事業を実施した。その他の事業についても制作・広報・技術協力をを行い、地域との協働を実現している。
- ・ 地域の関連団体（関内まちづくり振興会）との連携については、地元商店街との関係性を重視し、継続的に意見交換を行った。
- ・ 関内ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの3館連携にて障がいの有無を超えて共にダンスを創るスクランブルダンスプロジェクト公演を実施した。

エ 使命4の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
地域の賑わい創出	地元馬車道商店街協同組合との連携・パートナーシップは強固なものになっている、日頃から意見交換を重ね「あいすくりー	新聞広告やテレビスポット、後記事やニュース報道などにより効果的なパブリシティを実施し JV の特色を活かした運営を行った。	tvk 番組連動では局の方針もありイベント誘致は容易ではないが、他にはないメディアを生かした取り組みを実施することで、地域貢献に繋げる。

	む発祥記念イベントや馬車道まつりアートフェスタ」など馬車道の賑わい創出に寄与した。		
	チケ得は割引特典などサービスを分かり易く具体的に表記するなどリニューアルした。	店舗ごとPR動画を作成するなど新たな取り組みを行い、店舗さんからも期待を寄せられた。	チケ得に協力いただける店舗数の増加。

(5) 使命5 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R4実績	R5達成指標	R5実績	R6実績	R7実績	R8達成指標	R8実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	0件	0件	—	0件	—
2	法定点検等の実施	100%	100%	100%	100%	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	93%	90%	100%	50%	—	90%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R4実績	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行った。
		R5達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R5実績	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行った。
		R6実績	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行った。(※)
		R7実績	—
		R8達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R8実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R4実績	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行った。
		R5達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う。

		R 5 実績	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行った。
		R 6 実績	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行った。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行った。
		R 8 実績	—
3 ★	中期修繕計画の策定と見直し	R 4 実績	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定した。
		R 5 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 5 実績	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定した。
		R 6 実績	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定した。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 8 実績	—

※「空調が効きすぎて寒かった」とのご意見をいただくことがあり、公演本番中は設備スタッフによるシステム監視、場内の監視カメラなどで常時客席の状況を確認し、きめ細やかな調整を心掛けた。

来場者満足度向上に繋がるよう施設内の空調、衛生面には常に注視し取り組んでいる。

※利用者ごとに定期清掃を行なっているが、公演・発表会では「ラメ」衣装や肌に直接貼るキラキラする装飾が座席に残り、完全に取除くことが難しいため清掃の課題として注視する。

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ・来場者アンケートでは空調や館内サインについて項目を設け、責任者会議において利用者の意見を共有し、より快適にご利用いただけるようアップデートに努めた。
- ・施設維持管理において年間作業計画に基づく点検を実施、管理瑕疵に起因する事故0を達成した。
- ・施設の不具合などは横浜市とのモニタリング会議などで日頃から状況共有に務め、懸念事項の防災設備についても1歩ずつ改善に取り組んだ。引き続き、横浜市と連携して施設維持管理を進めていく。

エ 使命5の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
持続可能性を高める施設運営	防災設備の不具合において市と協力し、一部ではあるが修繕に繋げた。	防災設備を一部改修したことで問題点が明確となった。今後の修繕計画を具体的に検討する。	間もなく開館40年となり、長寿命化につなげるため修繕において市と協議し推し進める必要がある。
	施設の管理者として、施設全体の美観を維持し、快適な環境を提供した。		発表会などで出演者が付ける「ラメ」「スパンコール」などについては利用者の協力が欠かせない。
	修繕執行が予算の50%となった。	見込んでいた音響機器修繕において規模が拡大し市の方で対応していただくこととなり、見込んでいた費用で、安価での購入が困難なフィルターを購入した。	サイネージ関係の不具合において修繕につなげることが出来ず修繕が未遂となってしまったため、対応メーカーだけの問題とせず速やかに実行するよう務める。

令和6年度 「横浜市市民文化会館内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	142,260,140		142,260,140	142,360,340	△ 100,200	横浜市より
利用料金収入	72,000,000		72,000,000	80,663,530	△ 8,663,530	
自主事業収入	31,150,000		31,150,000	27,343,096	3,806,904	
補填				345,739	△ 345,739	キャッシュレス手数料補填
雑入	29,475,000	0	29,475,000	30,780,019	△ 1,305,019	
自動販売機手数料	1,760,000		1,760,000	1,642,804	117,196	
育成センター施設負担金	12,065,000		12,065,000	12,244,001	△ 179,001	
附属店舗賃借料・共益費・電気料	12,750,000		12,750,000	11,658,807	1,091,193	市に納付の附属店舗貸付料を含む
その他(チケット販売手数料等)	2,900,000		2,900,000	5,234,407	△ 2,334,407	チケット販売手数料、物販手数料 他
収入合計	274,885,140	0	274,885,140	281,492,724	△ 6,607,584	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	54,835,140	0	54,835,140	54,101,674	733,466	
給与・賃金	47,145,140		47,145,140	51,658,588	△ 4,513,448	
社会保険料	5,980,000		5,980,000	848,794	5,131,206	社会保険料は各社で負担のため給与賃金を含む
通勤手当	1,710,000		1,710,000	1,594,292	115,708	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	出向者分は共同事業体各社にて負担
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	出向者分は共同事業体各社にて負担
事務費	17,341,000	0	17,341,000	19,725,561	△ 2,384,561	
旅費	30,000		30,000	11,306	18,694	
消耗品費	1,320,000		1,320,000	3,228,779	△ 1,908,779	空調機用フィルター1,000,000を含む
会議賄い費	30,000		30,000	8,630	21,370	
印刷製本費	260,000		260,000	326,763	△ 66,763	R5年度より広報費1,760,000を減額、自主事業費に付け替え
通信費	1,200,000		1,200,000	1,922,338	△ 722,338	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	10,887,000	0	10,887,000	10,626,864	260,136	
横浜市への支払分	10,887,000		10,887,000	10,626,864	260,136	定期建物賃貸借契約貸付料(附属店舗)、目的外使用料(飲料自販機6台分、ドリンクコーナー)
その他	0		0	0	0	
備品購入費	360,000		360,000	138,300	221,700	
図書購入費	10,000		10,000	10,000	10,000	
施設賠償責任保険	113,000		113,000	111,590	1,410	業務災害補償保険(補償対象者：自主事業時のアルバイト)を含む
職員等研修費	100,000		100,000	100,000	100,000	
振込手数料	360,000		360,000	287,870	72,130	SG代引き振込手数料
リース料	1,791,000		1,791,000	1,450,020	340,980	無線機、コピー複合機、紙折機、パソコン、PC本体・保守、AED 他
手数料	70,000		70,000	718,191	△ 648,191	チケット代引き手数料、キャッシュレス手数料 他
地域協力費	810,000		810,000	894,910	△ 84,910	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費
事業費	31,260,000	0	31,260,000	32,017,104	△ 757,104	
自主事業費	31,260,000		31,260,000	32,017,104	△ 757,104	アーカイブ費660,000+広報費516,304を含む
管理費	164,624,000	0	164,624,000	164,330,721	293,279	
光熱水費	37,885,000	0	37,885,000	39,836,661	△ 1,951,661	
電気料金	27,700,000		27,700,000	30,485,136	△ 2,785,136	
ガス料金	6,100,000		6,100,000	5,230,189	869,811	
水道料金	4,085,000		4,085,000	4,121,336	△ 36,336	
清掃費	20,068,000		20,068,000	20,068,000	0	
修繕費	4,000,000		4,000,000	1,560,800	2,439,200	空調機用フィルターは消耗品を含む
舞台管理技術委託費	49,016,000		49,016,000	49,191,560	△ 175,560	
機械警備費	1,040,000		1,040,000	1,040,000	0	
設備管理費	52,615,000	0	52,615,000	52,633,700	△ 18,700	
空調衛生設備保守	13,754,000		13,754,000	13,754,000	0	
消防設備保守	4,754,000		4,754,000	4,754,000	0	
電気設備保守	11,991,000		11,991,000	11,991,000	0	
害虫駆除清掃保守	810,000		810,000	810,000	0	
駐車場設備保全費	165,000		165,000	165,000	0	
その他保全費	21,141,000		21,141,000	21,159,700	△ 18,700	
共益費	0		0	0	0	
公租公課	5,622,000	0	5,622,000	5,886,141	△ 264,141	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	5,432,000		5,432,000	5,698,441	△ 266,441	
印紙税	47,000		47,000	46,000	1,000	
その他(国税・地方税)	143,000		143,000	141,700	1,300	預金利息の国税・地方税、中区法人市民税均等割り額
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,203,000	0	1,203,000	2,148,699	△ 945,699	
本部分	715,000		715,000	1,375,000	△ 660,000	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	488,000		488,000	773,699	△ 285,699	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費等
支出合計	274,885,140	0	274,885,140	278,209,900	△ 3,324,760	
差引	0	0	0	3,282,824	△ 3,282,824	

自主事業費収入				27,343,096	
自主事業費支出				32,017,104	
自主事業収支				△ 4,674,008	

管理許可・目的外使用許可収入				23,902,808	
管理許可・目的外使用許可支出				10,791,864	
管理許可・目的外使用許可収支				13,110,944	